

第2回 教育行政連絡会

議事次第

- 1 外国につながる子どもの教育施策について
- 2 西淀川区役所等が実施する学校教育関連事業
- 3 令和4年度の学校協議会（会長会）と教育行政連絡会の関連について

1 外国につながる子どもの教育施策

外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針（2020年7月1日 文部科学省策定）

外国人の子供たちが将来にわたって我が国に居住し、共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることを前提に、日本における生活の基礎を身に付け、その能力を伸ばし未来を切り拓くことができるよう、外国人の子供に対する就学機会の提供を全国的に推進することが必要である。

「一見、日本語を流暢に話している児童生徒でも、日本語の学習に支援を要する場合がある」という認識を学校が持ち、積極的にJSLカリキュラムを活用していただいています。学校のご理解・ご協力に感謝申し上げます。来年度もよろしく申し上げます。



【令和4年度の取り組み】

1 外国につながる子どもへの中学校における進路指導の一助として「たぶんか高校進学セミナー」の実施

通訳者を配置し、中学校卒業後の進路の具体例や必要な費用について話をします。小学生の参加も大歓迎☆



【参考：令和3年度】

参加者 53名（生徒9名）

参加者のルーツ：フィリピン、ベトナム、ペルー、ネパール、イラン、インド、中国、スリランカ、

2 小学校入学前・年長児へのアプローチの強化

- (目的)
- ・ 不就学の防止 2020年3月時点文部科学省調査によると全国で19,471人の子どもが教育にアクセスしていない可能性がある
 - ・ 日本語指導の強化 初期対応を早いタイミングから実施することで、日本語指導協力者派遣が必要な児童を見極め、「日本語での勉強が苦手」となることを防止する

2 西淀川区役所等が実施する学校教育関連事業

① 基礎学力の向上事業（次長枠）

学習意欲の向上や自己肯定感の向上、基礎学力の向上をめざし、区内全小中学校で漢字検定・文章検定・英検ジュニア・英検ESG等を実施。

1 小学校：英検ジュニア・英検ESG 受験人数 約2,000人

2 中学校：漢字検定・文章検定 受験人数 約1,600人

3 に～よん漢字道場evolution!

学習をすすめることにより自己肯定感を高める取り組み

- ・スキンケア大学による学習意欲向上動画
- ・に～よん漢字道場evolutionの表彰状を授与

4 に～よん模試

区内中学校に通う2年生全員を対象に区PTA協議会主催、四中学校・区役所共催、好文学園女子高等学校の協力で実施

5 外国につながるこどもへの教育施策研修会

第1回 教育行政連絡会にて大阪大学榎井教授を招聘し実施

② スクールボランティア支援事業（次長枠）

西淀川区小中学校からの推薦を受け児童生徒の学校生活の支援にあたるボランティアに対し、ボランティア活動に対する謝礼を支払うことにより、学校を人的に支援する。

令和3年度 この事業が役に立ったと答えた学校の割合 100%

③ 西淀川区民間事業者を活用した基礎学力支援事業（次長枠）

西淀川区内の中学生を対象に、塾等の事業者が公共施設を活用して課外授業を実施することで、基礎学力の定着、学習習慣の形成及び子どもの習熟度に応じた学力向上を図ることを目的とする。

④ こどもサポートネット事業

支援人数：160人程度

この事業が教育分野と福祉分野のつなぎに役に立ったと答えた学校の割合 94.1%